

畜産生産資材価格高騰対策緊急経営支  
援事業補助金（光熱動力費高騰対策）  
の申請について

宮城県農政部畜産課企画管理班

# 1 内容（光熱動力費高騰対策）

- 他畜種に比べ光熱動力費の負担割合が大きい酪農経営に対し、掛かり増し経費の一部を補助する。

# 2 事業実施主体

- みやぎの酪農農業協同組合
- 宮城県酪農農業協同組合
- 全国農業協同組合連合会宮城県本部
- 上記に所属しない酪農経営体

### 3 補助対象経費

- 定額

令和5年7月1日に飼養している乳用種経産牛1頭あたり2,000円

### 4 取組主体（下記条件を満たす酪農経営体）

- **令和5年度以降も経営を継続する者**
- **飼料高騰対策に取り組む意思のある者**
- 補助対象者として不適當ではないもの

# 5 申請の流れ

①取組主体が下記書類を事業実施主体に提出。

- 別添様式第1号（光熱動力費高騰対策分。以下同じ。）
- 別添様式第2号

②事業実施主体は取組主体から提出のあった書類を取りまとめ、  
下記書類と併せて県庁畜産課に提出。

- 交付申請書（様式第1号）
- 事業計画書（様式第1号－1）
- 収支予算書（様式第1号－2）
- 取組主体一覧
- 経産牛頭数一覧

## 6 スケジュールのイメージ

月	内容	
8月	上旬 中旬 下旬	取組主体から事業実施主体へ書類提出
9月	上旬 中旬 下旬	交付申請（事業実施主体→県畜産課） 交付決定（県畜産課→事業実施主体）、概算払い請求（事業実施主体→県畜産課） 概算払い（県畜産課→事業実施主体）
10月	上旬 中旬 下旬	実績報告（事業実施主体→県畜産課） 履行調査、額の確定（県畜産課→事業実施主体）
1月		
2月		
3月		

- あくまでイメージです。若干前後する可能性があります。
- 交付申請の時期によってスケジュールは前後します。

# 参考：様式（「取組主体一覧」及び「経産牛頭数一覧」）の記載方法

別紙（別記様式第1号－1添付資料）

事業実施主体ごとに作成

令和4年度畜産生産資材価格高騰対策緊急経営支援事業費補助金取組主体一覧  
（光熱動力費高騰対策）

事業実施主体 **事業実施主体名を記載**

NO.	取組主体名 (対象畜産経営体)	対象頭数 (頭) A	補助単価 (4,000円/1頭) B	事業費 (円) A×B	負担区分		備考
					県補助金 (円)	その他 (円)	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
合計							

※取組主体（畜産経営体）ごとに、別紙「経産牛頭数一覧」を作成すること。  
※行が足りない場合は適宜追加すること。

別紙

取組主体ごとに作成

経産牛頭数一覧

「取組主体一覧」のNo.、取組主体名を記載

No. 取組主体（畜産経営体）

NO.	個体識別番号	生年月日	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

右上に記載した取組主体の対象経産牛の  
個体識別番号、生年月日を記載

経産牛の合計頭数と「取組主体一覧」の該当取組主体の  
対象頭数が一致しているかご確認ください。

合計頭数  
※行が足りない場合は適宜追加すること。